

| 対談市町名 | 対談項目 | 各市町長の主な発言内容 | 知事の発言内容 |
|--------|--------------------------------|---|--|
| 18 紀北町 | 対談項目1 国道422号の整備について | <p>国道422号は、長島地区から赤羽地区へ結ぶ基幹道路となっていることから大変重要な地区である。まだ、幅員が狭いとか見通しが悪い区間が残っているので要望したい。</p> <p>要望させていただくのは今回で3回目、鍛冶屋又が崩壊し大型車両通行の待避所を作っていたらいいとのお願いが最初で、26年には対応していただいているお礼を兼ねて再度拡幅の要をさせていただいた。</p> <p>県もこれまで熱心に取り組んでいただいて、そのスピード、自分たちが思っていなかった場所まで拡幅していただいたので地域住民のみなさんもよろこんでいるが、紀北町としての観点から今回のテーマにさせていただいた。</p> <p>赤羽地区一帯は、紀北町の中で浸水域外であり、貴重な地域となっている。中長期的にまちづくりを考えていく中で、施策安全安心上必要とする施設を建てたりしようとする際により一層の交通インフラが必要となる。</p> <p>まちづくりという中長期的な大きな観点から国道422号をより一層安全な道づくりをお願いしたい。</p> <p>また、赤羽公園は国体の少女女子のソフトボールとグランドゴルフが行われる。国体までに赤羽公園周辺まで整備していただき、少しでも訪れていただいた方が快適に安全に通行できるような、抜本的にまちづくりに寄与していただける道路にさせていただければありがたい。</p> | <p>島原地区は、平成25年度から道路啓開基地の整備にあわせて約320m区間の整備に着手した。</p> <p>平成27年度は道路改良工事を進め、平成28年度に供用する予定である。</p> <p>平成24年度からは、十須地内において640m区間の整備に着手し、平成26年度までに320mが供用した。</p> <p>現在は、残る320m区間の整備を進めており、平成27年度は50m区間の用地買収を行う予定である。</p> <p>今、事業実施中の所も含めて厳しい予算状況だが、早期に供用できるよう努める。</p> <p>地元の建設事務所とも優先順位について、まちづくりの観点からもご協議いただきたい。</p> <p>県も国への道路の要望等は、国体を一つの区切りにしながら行っている。伊勢の陸上競技場周辺も国体を目途にしているの、国体というのは重要なポイントであり、今後、具体的な協議をさせていただきたい。</p> |
| 紀北町 | 対談項目2 鍛冶屋又官行造林地における流木対策について | <p>平成23年台風12号豪雨により、深層崩壊を生じた鍛冶屋又官行造林地では、多数の流木が崩落した土砂に埋没しており、大雨による出水のたびに、土砂とともに下流域へ流出している状況である。</p> <p>本年8月25日の台風15号では、崩壊地内の不安定に堆積していた土砂や流木が流出し、大量の流木が長島港へ流入・漂着して漁船の運航に支障を来したことはもとより、漁具に多大な被害を与えた。</p> <p>鍛冶屋又官行造林地の下流部には、国の流木対策としてスリットダムが1基設置されているが、台風15号では大量の土砂や流木が発生したため、下流域への流木の流出を十分防ぐことが出来なかった。</p> <p>このため、町の基幹産業であります漁業に多大な影響を与える流木被害の状況を国に伝えた所である。</p> <p>県におかれては、谷止工の設置を着々と進めて頂いているが、国による鍛冶屋又官行造林地からの流木流出対策の追加実施について、さまざまな機会に国に対して求めて頂くよう切に要望する。</p> | <p>紀伊半島大洪水により発生した鍛冶屋又官行造林地の深層崩壊の話聞いて、県から国に要望し、国、紀北町、県による三者協議を開催したのは強く印象に残っている。</p> <p>また、自分自身が森と緑の県民税を導入し、県民の皆さんにご負担いただいても災害に強い森づくりをやらなければならないと思ったきっかけの1つでもある。極めて深刻な深層崩壊と三重県の水産業を支えてくれている長島港、漁業への影響等も含め強い思いを持ったところで、持った私にとっても心に残っている。</p> <p>これまでのところ、国が施工すべき治山ダム2基と、県が施工すべき治山ダム4基のうち2基が完成し、今年度から新たな治山ダムの施工に着手したところであり、今後も、早期の復旧を目指し、計画に基づき対策を進めていくこととしている。</p> <p>また、今回、国においては、スリットダムに堆積した流木等の除去を実施したところであるが、引き続き、国に対して、官行造林地の森林整備やスリットダムの適切な維持管理などを様々な場面で積極的に要望していきたいと考えている。</p> |

| 対談市町名 | 対談項目 | | 各市町長の主な発言内容 | 知事の発言内容 |
|-------|---|------------------|--|--|
| 紀北町 | 対談項目3 三浦・矢口漁港海岸保全施設整備事業に係る予算重点配分について | | <p>三浦と矢口漁港は、現在、堤防を整備していただいているが、同時着手ということで大変厳しい中、予算付けも行っていただいて、地元関係者の永年の悲願であった事業であり大変嬉しく感じている。</p> <p>ただ、極門部分等開いた区間があるので国の経済対策等あった際に重点配分いただき一括に工事が施工できるようにお願いしたい。</p> | <p>三浦と矢口の漁港は、長寿命化、耐震化等漁港施設、海岸保全施設として重要で、国における平成27年度予算配分において、県要望に対して大幅に不足したことから、平成28年度予算に向けた国への提言・提案において、海岸保全施設の整備に必要な予算確保の要望などを行った。引き続き、予算確保に向けた要望を行いたい。</p> <p>空いているところは28年度の予算が付けば、実施できると思うので、国への働きかけなど予算確保に努めていきたい。</p> |
| 紀北町 | 対談項目4 防災対策の強化のための地域減災力強化推進補助金の充実について | 地域減災力強化推進補助金について | <p>県の単独補助金である地域減災力強化推進補助金については、28年度見直しがあるやに聞いている。</p> <p>紀北町は、この補助金に活用させていただき、小さな手すり1本つけることを含め100箇所整備できた。ここまでやったのは補助金があるが故だと思っている。</p> <p>見直しの中でどうなるのかは読み取ることができないが、大変予算が厳しい中、強化推進補助金の一定の枠を確保いただきたい。</p> <p>その中で、一昨年から、災害監視カメラの話をしている。こういったものも補助金の中で支援してもらえるとありがたい。</p> <p>我々としては実情を知っていただく意味でお話させていただくが、平成23年5月に緊急要望というものを自主防災会からあげていただいた。そのうち、できないもの、国、県によるものを除いて95%ほどできてきた。海岸線を多く抱える紀北町のような町は、多くの避難路を作らなければならない。以前もお話させていただいたが、入り口から500メートルの円を書いて全ての住居が入るように、できればそれが重なるように避難路整備を行ってきた。ある意味、命を救うだけの避難路になっている部分もある。今年度第2ステージとして中須地区に建てている津波避難タワーなどは国の補助要件に合うが、ほとんど要件に合わない施設が多い。命を救うだけの避難路から優しい避難路に転換していきたい。沿岸地域の多い当町はエンドレスな部分があるので支援していただきたい。</p> | <p>地域減災力強化推進補助金については、東日本大震災の発生を受け、平成23年度から5年間、特に地震・津波対策、津波からの避難対策について市町の行う事業の半分を補助させていただいている。</p> <p>津波避難対策については、5年間支援してきたことで、全ての市町において完全とは言えないまでも一定の役割を果たしたものと考えている。</p> <p>来年度についても、この補助金の財源確保できるようにしたいと思っているが、市町のご要望も踏まえたうえでメニューの見直しに取り組んできたと思う。</p> <p>基本的なメニューの方向性としては、昨年の南海トラフ特別措置法の施行に伴い、国の手厚い補助制度が活用できるようになったことから活用していただきつつ、県としては、土砂災害対策、風水害対策、あるいは孤立地域への支援、避難所の避難後の環境整備などをメニューの中心にしたいと議論しているところであるが、全体の額を確保できるよう努力していきたい。</p> <p>29市町の中で進捗の差、必要性の差もあるので、最終的には予算議論の中で津波避難路の補助を残すのか残さないのかも議論していきたい。</p> <p>一方で、国の補助メニューに合わないような小規模避難路整備についても、国に対して地域の実情に合わせた既存の制度の要件緩和であるとか社会資本整備総合交付金の中にも使えそうな事業があるので、国の事業の精査、要件緩和の要望も積極的に取り組んでいきたい。</p> |

| 対談市町名 | 対談項目 | | 各市町長の主な発言内容 | 知事の発言内容 |
|-------|---|-------------|--|---|
| 紀北町 | 対談項目4 防災対策の強化のための地域減災力強化推進補助金の充実に ついて | 監視カメラ設置について | <p>監視カメラはLAN引き込み等多額の費用がかかる。便ノ山地区は、台風の接近等に伴い大雨警報や土砂災害警戒情報が出され、その度に、銚子川の水位が危険水位に達することから、消防団員、自主防災会の皆様が河川の状況を現地で目視し、町の災害対策本部に伝達するなどの警戒活動を行っていただいている。</p> <p>町としては、消防団員等の安全確保や町民の不安解消を目的として、台風や豪雨時においてもリアルタイムで河川の状況を監視することができるカメラの導入等について検討をしているところである。</p> <p>すぐに監視カメラを設置できるものではないが、設置するとなれば河川数なので、県のご理解もいただかなければならないし、減災力強化推進補助金も使えるよう支援していただけるとありがたい。</p> | <p>監視カメラについては、市町の状況等も確認はさせていただきたいと思う。</p> <p>地域減災力強化推進補助金の中で対応するのが良いのかもどうかもあるが、紀北町の方で監視カメラについて大変関心が高いことも十分理解したので今後県がどういう役割を果たしていくべきなのかしっかりと議論していきたい。</p> |
| 紀北町 | 対談項目5 銚子川及び船津川の河口閉塞の解消及び銚子川の堆積土砂撤去等について | | <p>河川の避難勧告を出さなければならない1つの要因は砂利の堆積によるものと考えている。</p> <p>毎年の心配の種である。予算が厳しいことは認識しているが予算の確保をお願いする。</p> <p>また、銚子川の堆積土砂撤去についても、これまでの撤去方針に加え、処分地について新たに民有地への処分を公募することにも取り組んでいただき感謝する。</p> <p>町としても、この公募方式を広く町民に周知するため、町広報紙やホームページにも掲載するなど処分地の確保に向け取り組んでいるところである。</p> | <p>来年度、大変予算が厳しいところであるが、来年度の経営方針を議会へ示したところである。その中の重点取り組みの1つに激化する風水害等への対応をハードを中心に入れているところである。そこには河川の堆積土砂の撤去も入れるように考えているので、額や箇所については、これから予算議論していく。箇所については、残土処分地の関係や堆積状況等により、町と建設事務所で協議をさせていただいて順番を決めていくことになると思う。</p> |